

BenQ

LCD モニタ

ユーザーズ ガイド

M2700HD

著作権

Copyright © 2011 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

モニタが最高の性能で動作するよう、またモニタをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

電源についての安全対策

- AC プラグにより、AC 電源と本装置の接続が解除されます。
- 電源コードは、プラグ着脱可能な装置では電源停止デバイスとして機能します。電源コンセントは、本装置の近くに設置され、すぐに利用できる状態になっている必要があります。
- 本製品は、ラベルのマークに示されている電源タイプで動作させる必要があります。利用可能な電源のタイプが不明の場合は、取扱店または地域の電気会社にお問い合わせください。
- 必ず H03VV-F または H05VV-F、2G または 3G、0.75mm² 相当またはそれ以上の専用電源コードをご使用ください。

お手入れと清掃

- 清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニタの電源コードをはずしてください。LCD モニタの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニタは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が行われな限り、内蔵させないようにしてください。
- 本製品内に異物を押し込んだり、液体をこぼしたりしないようにしてください。

保守

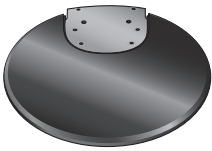
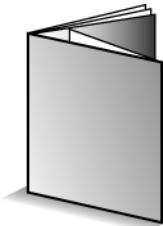
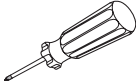
本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

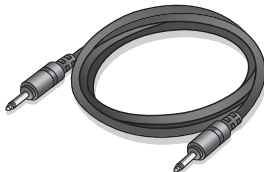
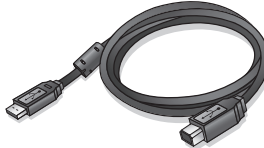
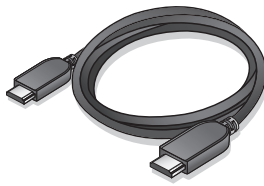
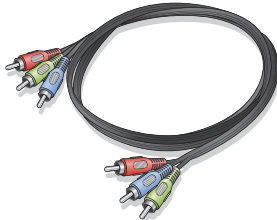
目次

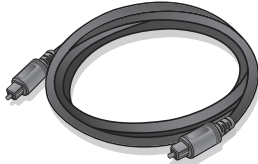
著作権	2
免責	2
はじめに	4
モニタの外観	7
前面ビュー	7
背面ビュー	7
リモコンに慣れていただくために	8
前面ビュー	8
バッテリーの装着	9
モニタ ハードウェアの取り付け方法	10
スタンドベースの取り外し	17
BenQ モニタの特長を生かすために	18
新しいコンピュータにモニタをインストールするには	19
既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには	20
Windows 7 システムへのインストール方法	21
Windows Vista システムへのインストール方法	22
Windows XP システムへのインストール方法	23
画像の最適化	25
モニタの調整	26
コントロール パネル	26
ホットキー モード	27
メインメニュー モード	28
トラブルシューティング	42
よくある質問 (FAQ)	42
それでも具合が悪いときは	44

1. はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	
モニターベース	
クイック スタート ガイド	
CD-ROM ディスク	
リモコン	
ネジ回し	
ネジ x 4 個	

電源コード (地域によって製品図が異なる場合があります)	
ビデオケーブル : D-Sub	
オーディオケーブル	
USB ケーブル	
ビデオケーブル : DVI-D	
ビデオケーブル : HDMI	
ビデオケーブル : コンポーネント (コンポーネント入力があるモデルのオプションアクセサリ、別売り)	
ビデオケーブル : コンポジット (コンポジット入力があるモデルのオプションアクセサリ、別売り)	

ビデオケーブル：S ビデオ (S ビデオ入力があるモデルのオプション アクセサリ、別売り)	
オーディオケーブル：S/PDIF (Toslink コ ネクタ付き光ファイバーケーブル) (S/PDIF 入力があるモデルのオプション アクセサリ、別売り)	

💡 モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。
専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。

👉 製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

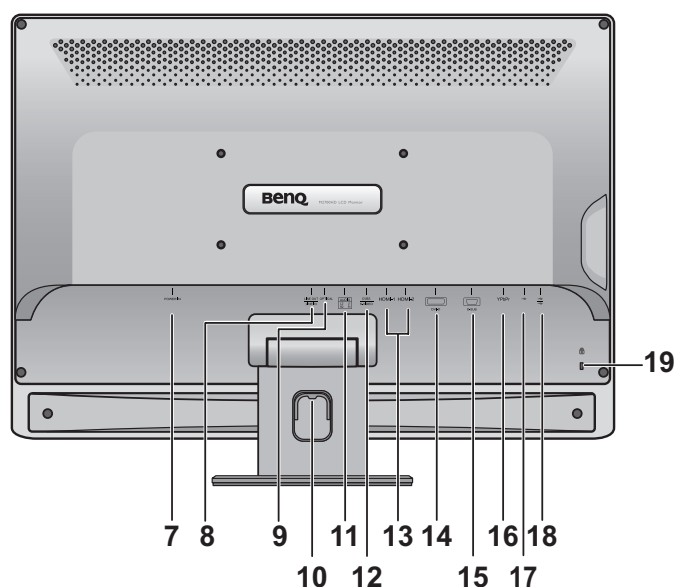
2. モニタの外観

前面ビュー



1. コントロールボタン
2. 電源ボタン
3. リモコンセンサー
4. スピーカー
5. ヘッドフォンジャック
6. USB ポート x 2 (ダウンストリーム : USB デバイスに接続)

背面ビュー

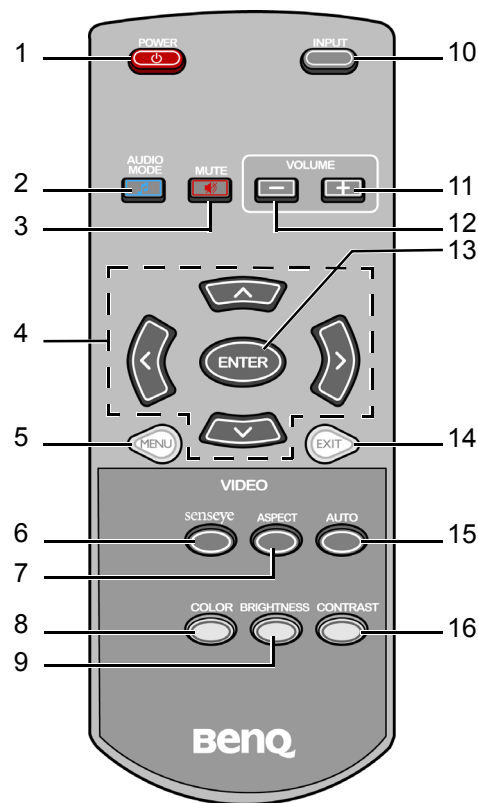


7. AC 電源入力ジャック (POWER IN)
8. 入力と出力 ($\frac{\text{LINE OUT}}{\text{LINE IN}}$)
9. S/PDIF ソケット (OPTICAL)
10. ケーブルクリップ
11. オーディオ入力ジャック (AUDIO L2, R2, L1, R1)
12. コンポジットおよび S ビデオ入力ソケット ($\frac{\text{CVBS}}{\text{S-VIDEO}}$)
13. HDMI ソケット x 2 (HDMI-1 / HDMI-2)
14. DVI-D ソケット (DVI-D)
15. D-Sub ソケット (D-SUB)
16. コンポーネント入力ソケット (YPbPr)
17. USB ポート x 1 (アップストリーム : PC に接続)
18. USB ポート x 2 (ダウンストリーム : USB デバイスに接続)
19. ロックスイッチ

☞ 上記の例はモデルにより異なります。

3. リモコンに慣れていただくために

前面ビュー

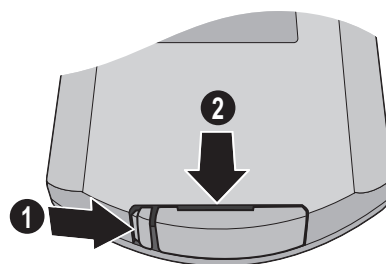


- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 電源ボタン (Power) | 電源を ON/OFF します。 |
| 2. オーディオモード ボタン (Audio mode) | 別のオーディオモードに切り替えます。 |
| 3. ミュートボタン (Mute) | 音量をミュートにします。 |
| 4. ナビゲーションボタン | 設定を調整したり、別のサブメニューに移動したりします。 |
| 5. メニューボタン (Menu) | OSD メインメニューを有効にしたり、前のメニューに戻ったりします。 |
| 6. Senseye モードボタン | 別の Senseye モードに切り替えます。 |
| 7. 縦横比ボタン (Aspect) | 縦横比を調整します。 |
| 8. カラーボタン (Color) | 色を調整します。 |
| 9. 輝度ボタン (Brightness) | 明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。 |
| 10. 入力ソースボタン (Input) | モニタに接続されている別のビデオ信号を切り替えます。 |
| 11. ボリュームを上げるボタン | 音量を上げます。 |
| 12. ボリュームを下げるボタン | 音量を下げます。 |
| 13. Enter ボタン | サブメニューに入り、アイテムを選択します。 |
| 14. 終了ボタン (Exit) | OSD を終了します。 |
| 15. 自動調整オン / オフボタン (Auto) | 垂直位置、位相、水平位置、ピクセルクロックを自動的に調整します。 |
| 16. コントラストボタン (Contrast) | 暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。 |

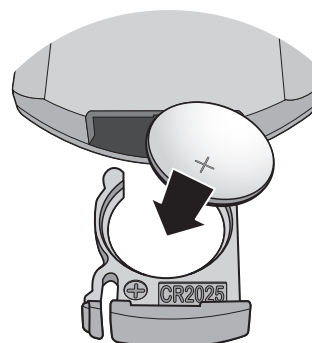
💡 OSD = オンスクリーン ディスプレイ。

バッテリーの装着

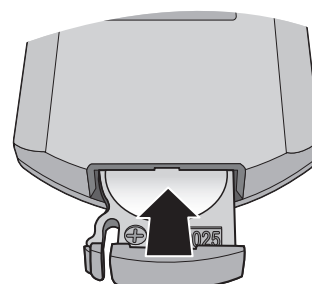
1. リモコンを裏返します。リモコンの底面にあるつまみを右へ押したまま、バッテリーホルダーを引き出します。



2. 別途ご購入いただいた 3V リチウム セルバッテリーをバッテリーホルダーに正しく挿入します。正極（+）が上向きになるように挿入してください。



3. バッテリーホルダーをリモコンに戻します。
以上でリモコンの準備が完了しました。



4. モニタ ハードウェアの取り付け方法

- ☞ モニタベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行って下さい。モニタが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。またモニタベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

1. モニタベースを設置します。

- ☞ 物や突起物がない平らで安定した場所に、モニタの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニタの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがございますと傷や破損の原因となります。

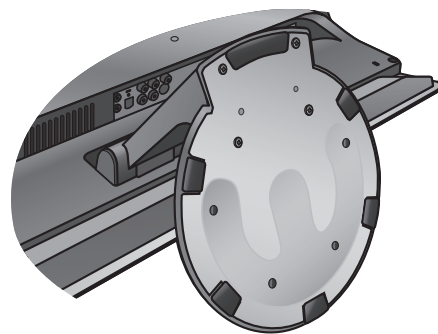
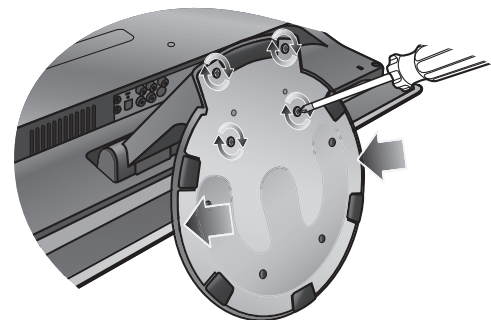
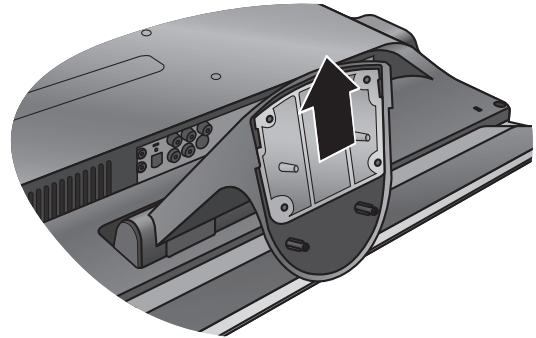
モニタをしっかりと持ち、モニタのスタンドアームを上へ引き上げてください。

スタンドベースのソケットとスタンドアームの端を揃えて、しっかりと収まるまで押してください。図に示すとおり、(付属のネジ回しを使って)モニタベースの底面にあるネジを締めてください。

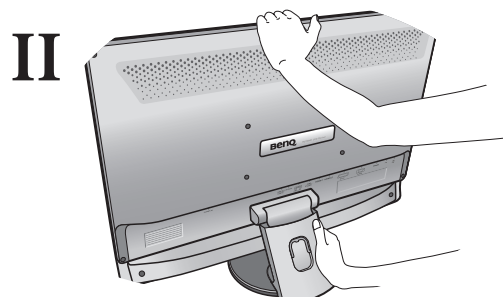
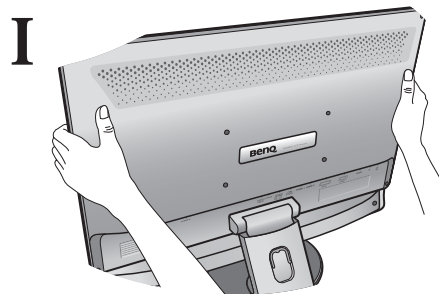
- ☞ 付属のネジ回しは、ネジを締める場合と外す場合のみお使いください。ネジ回しを誤用すると、重傷を負ったり、製品にダメージを与えたりする場合があります。

ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

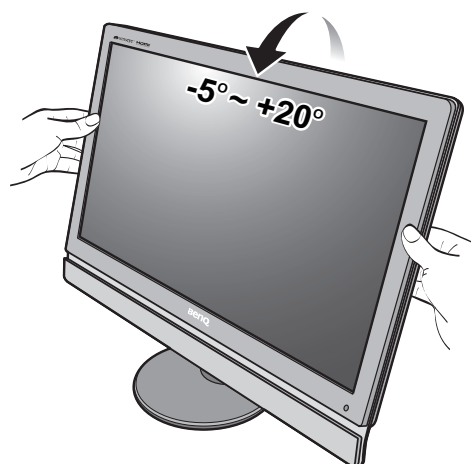
ゆっくりとモニタを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。



⚠ モニタを動かしたり、角度を調整したりする場合は、必ず両端 (図 I)、またはスクリーンとモニタスタンドの上部 (図 II) を持ってください。スクリーンの底部を持つと (図 III)、スクリーンの底部が破損する恐れがあるため、絶対にスクリーンの底部は持たないでください。



💡 照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。

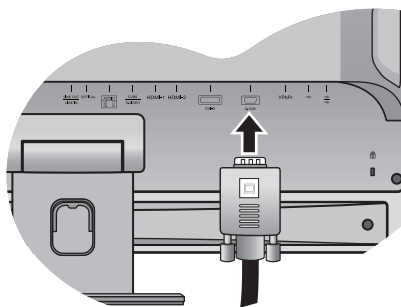


2. ビデオケーブルを接続します。

D-Sub ケーブルの接続

D-Sub ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。フェライトフィルタが付いている方のプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。

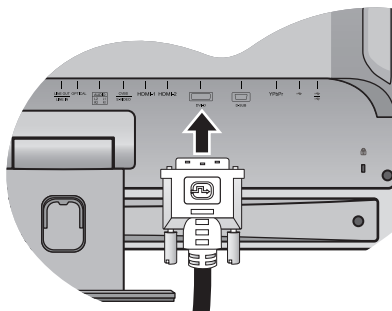
使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。



DVI-D ケーブルの接続

DVI-D ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。フェライトフィルタが付いている方のプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。

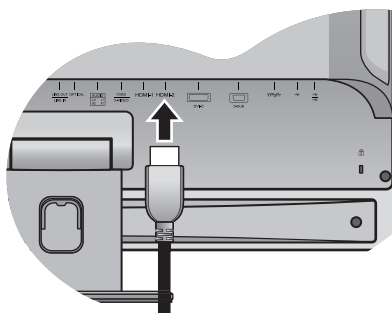
使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。



HDMI ケーブルの接続

HDMI ケーブルのプラグを、モニタの 2 つの HDMI ポートのうちの 1 つに接続します。

ケーブルのもう片端を、デジタル出力装置の HDMI ポートに接続します。

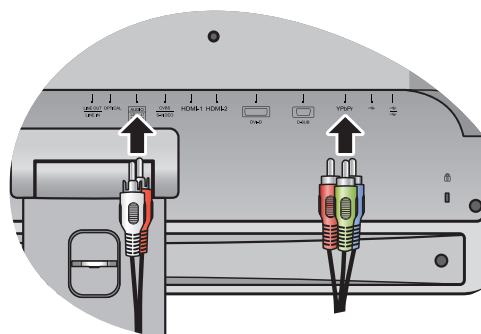


コンポーネント ケーブルの接続

コンポーネントケーブルのプラグをモニタのコンポーネントビデオ入力に接続してください。プラグには緑、青、赤があります。プラグの色と端末の色が同じになるように接続してください。

ケーブルのもう片端を、ビデオ出力装置のコンポーネントポートに接続します。

適切なオーディオケーブル（またはコンポジットケーブルを使用）を使って、出力装置の相当するオーディオ出力とモニタの AUDIO 出力端末 (L2/R2) を接続します。オーディオ転送に使用するプラグは、白と赤です。オーディオプラグの色と端末の色が同じになるように接続してください。オーディオケーブルのもう片端を、ビデオ出力装置のオーディオポートに接続します。



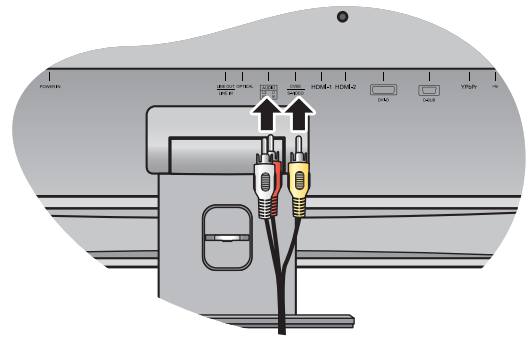
コンポジットケーブルの接続

コンポジットケーブルの黄色いプラグをモニタのコンポジットビデオ入力に接続してください。

ケーブルのもう片端を、ビデオ出力装置のコンポジットポートに接続します。

コンポジットケーブルの白と赤のプラグを使って、出力装置の相当するオーディオ出力とモニタの AUDIO 出力端末 (L1/R1) を接続します。オーディオプラグの色と端末の色が同じになるように接続してください。

オーディオケーブルのもう片端を、ビデオ出力装置のオーディオポートに接続します。



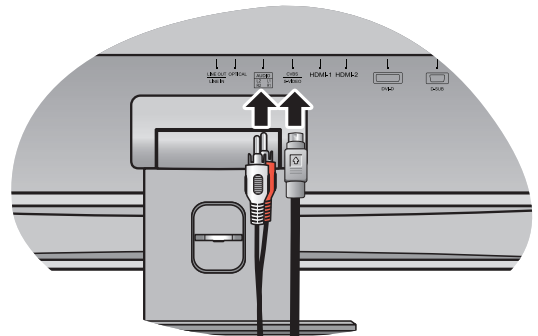
S ビデオケーブルの接続

S ビデオケーブルのプラグをモニタの S ビデオビデオ入力に接続してください。

ケーブルのもう片端を、ビデオ出力装置の S ビデオポートに接続します。

適切なオーディオケーブル (またはコンポジットケーブルを使用) を使って、出力装置の相当するオーディオ出力とモニタの AUDIO 出力端末 (L1/R1) を接続します。オーディオ転送に使用するプラグは、白と赤です。オーディオプラグの色と端末の色が同じになるように接続してください。

オーディオケーブルのもう片端を、ビデオ出力装置のオーディオポートに接続します。



 製品に同梱されているビデオケーブルと右図に示すソケットは、LCD モデルによって異なる場合があります。

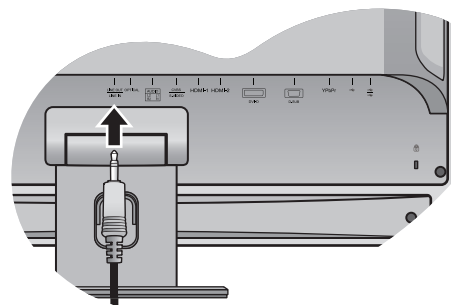
3. オーディオケーブルを接続します

オーディオ信号を入力するには

付属のオーディオケーブルでモニタ背面のソケット (入力) とコンピュータのオーディオ出力を接続します。

ビデオソースがコンポーネント、コンポジット、または S ビデオの場合は、次を参照してください。

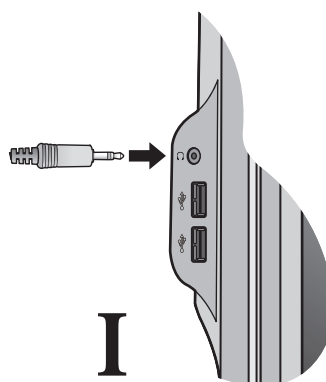
- 12 ページの「コンポーネントケーブルの接続」。
- 13 ページの「コンポジットケーブルの接続」。
- 13 ページの「S ビデオケーブルの接続」。



オーディオ信号を出力するには

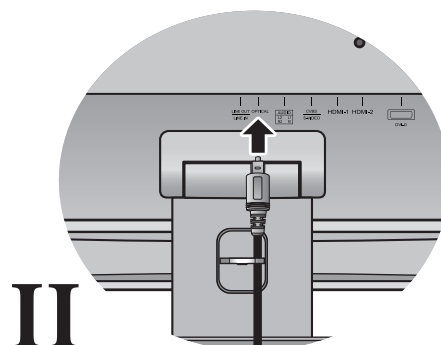
モニタからオーディオを出力するには、次のオプションを設定することができます。

- またモニタの左側にあるヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続することもできます。右図を参照してください。

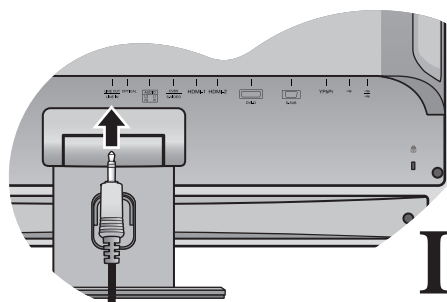


- 適切なオーディオケーブル（通常は別売りです。あるいはモニタに接続するオーディオ装置に付いている場合もあります）を使用すると、モニタの S/PDIF ソケットと、S/PDIF 対応の外付けスピーカーまたはヘッドフォンを接続することができます。

☞ このオプションは、オーディオソースが HDMI の場合に限り使用可能です。



- 外付けスピーカーを使用する場合は、別のオーディオケーブル（通常はスピーカーに付帯されています）を使ってモニタ（出力）とスピーカーの入力ジャックを接続してください。



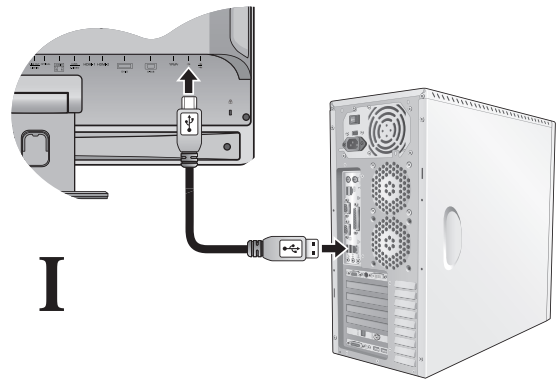
- あるいはモニタに内蔵されているスピーカーを使ってオーディオを出力することができます。

☞ モニタで検出されたオーディオ信号の出力優先順位は、ヘッドフォンジャック、S/PDIF ソケット、Line Out ソケット、内蔵スピーカーです。つまりモニタのオーディオ出力ソケットに接続されたオーディオケーブルにより、オーディオ出力の順番が決定されます。



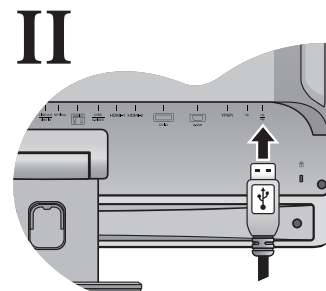
4. USB デバイスを接続します。

I. USB ケーブルで PC とモニタを接続します
(モニタ背面にあるアップストリーム USB ポート
を使用)。このアップストリーム USB ポートは、
PC とモニタに接続されている USB デバイスの間
でデータを通信します。



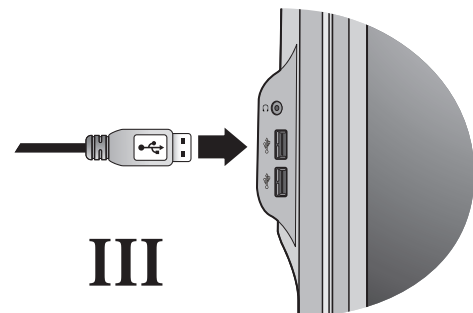
II. モニタの別の USB ポート (ダウンストリーム)
を使って、USB デバイスを接続します。これらの
ダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスと
アップストリームポートの間でデータを通信しま
す。

右図を参照してください。



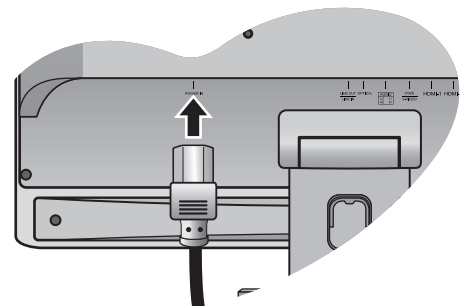
III. モニタの左側面にある USB ポート (ダウンスト
リーム) を使って、あと 2 つの USB デバイスを接
続できます。

右図を参照してください。



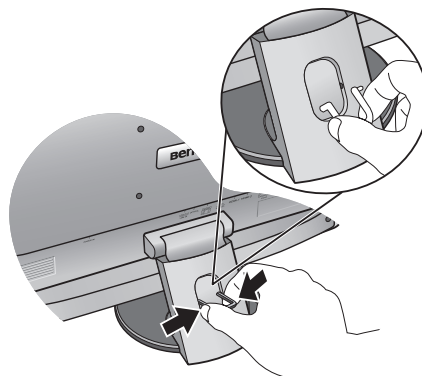
5. モニタに電源ケーブルを接続します。

モニタの背面の「POWER IN」と記載されたソケッ
トに電源コードをつなぎます。この時点ではまだ
コンセントにプラグを差し込まないでください。

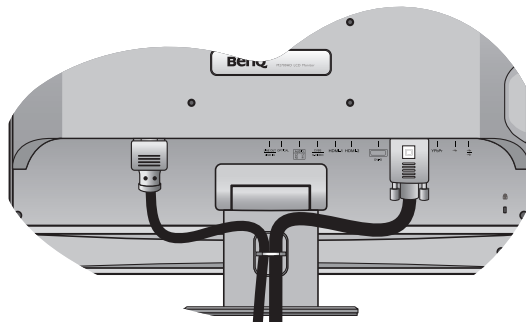


6. ケーブルをブラケットに通します。

図に示す通り、クリップを内側に押し込んでケーブルを放します。



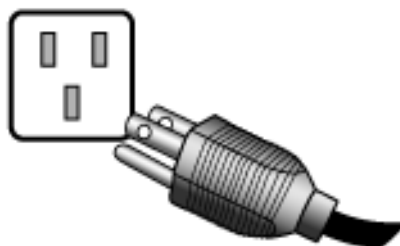
すべてのケーブルをモニタスタンドの背後にまとめておくと、ケーブルを整理できます。



7. 電源に接続し、電源をオンにします。

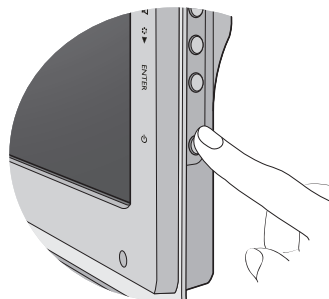
電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。

 地域によって製品図が異なる場合があります。



モニタの右側にある電源ボタンを押して、モニタをオンにします。

コンピュータの電源も入れて、セクション 5
[18 ページの「BenQ モニタの特長を生かすために」](#)
の手順にしたがって、モニタソフトをインストールしてください。

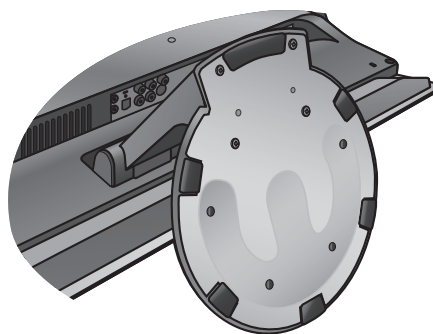


スタンドベースの取り外し

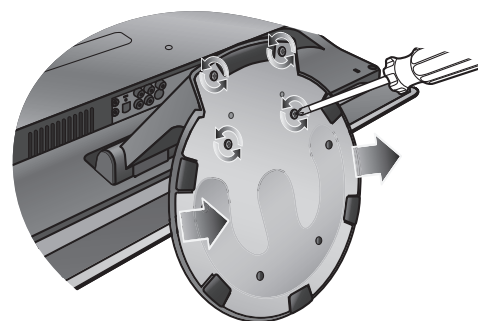
1. モニタと作業場所の準備。

電源ケーブルを外す前に、モニタの電源を切ります。モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

☞ ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。



2. 図に示すとおり、モニタベースの底面にあるネジを外し (付属のネジ回しを使って)、モニタベースを外します。



5. BenQ モニタの特長を生かすために

BenQ カラー LCD フラットスクリーンモニタの利点を最大限に生かすには、BenQ LCD Monitor CD-ROM に格納されている BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする必要があります。

BenQ LCD モニタを接続、インストールする状況に応じて、BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする手順が変わります。これらの状況とは、使用する Microsoft Windows のバージョン、モニタを接続し、ドライバをインストールするコンピュータが新しいものであるかどうか（既存のモニタドライバが存在しないかどうか）、または既存のドライバを新しいモニタ用にアップグレードするのかどうか（既存のモニタドライバが存在する）などを指します。

いずれの場合にしても、次回コンピュータの電源を入れるとき（コンピュータにモニタを接続した後）、Windows は自動的に新しい（または異なる）ハードウェアを識別し、新しいハードウェアが検出されましたウィザードを起動します。

モニタモデルを選択するように要求されるところまで、ウィザードの指示にしたがってください。このとき、ディスク使用ボタンをクリックして BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入し、適切なモニタモデルを選択します。自動インストール（新しいモニタ）またはアップグレード（既存のモニタ）についての詳細と、詳しい手順は、次を参照してください。

- [19 ページの「新しいコンピュータにモニタをインストールするには」。](#)
- [20 ページの「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」。](#)

☞ ログインするためにユーザー名とパスワードの入力が必要な Windows コンピュータにモニタドライバをインストールするには、管理者の権限でログオンするか、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。また、セキュリティ設定が施されたネットワークにコンピュータを接続している場合は、ネットワークポリシーによりコンピュータにドライバをインストールできない場合があります。

新しいコンピュータにモニタをインストールするには

ここでは、まだモニタドライバが何もインストールされていない新しいコンピュータで BenQ LCD モニタドライバを選択し、インストールする手順を説明します。この手順は未使用のコンピュータで、BenQ LCD モニタが初めて接続するモニタである場合にのみしなくてはなりません。

☞すでに他のモニタを接続したことがある、使用済みのコンピュータに BenQ LCD モニタを接続する場合は (すでにモニタドライバがインストールされている場合)、この手順にしたがうことはできません。「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」の説明にしたがってください。

1. セクション 10 ページの「**モニタ ハードウェアの取り付け方法**」の手順にしたがってください。
Windows が起動すると、新しいモニタが自動的に検出され、**新しいハードウェアが検出されましたウィザード**が起動します。ハードウェアドライバのインストールオプションが表示されるまで、画面の指示にしたがってください。
2. BenQ LCD Monitor CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入します。
3. **デバイスに最適なドライバを検索する**オプションをチェックし、**次へ**をクリックします。
4. CD-ROM drives オプションをチェックし (その他のオプションはチェックしない)、**次へ**をクリックします。
5. ウィザードが正しいモニタ名を選択したことを確認し、その後で**次へ**をクリックします。
6. **完了**をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。

既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには

ここでは、Microsoft Windows コンピュータ上で既存のモニタドライバを手動で更新する方法を説明します。現時点では、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 などのオペレーティングシステム (OS) と互換性があることが確認されています。

☞ このモデルの BenQ LCD モニタドライバは他のバージョンの Windows と問題なく作動するはずですが、本書作成段階において他のバージョンの Windows でこれらのドライバのテストが完了しておらず、正常な作動を保証することはできません。

モニタドライバをインストールするには、BenQ LCD Monitor CD-ROM から使用するモニタモデル用の適切な情報ファイル (.inf) を選択し、Windows に相当するドライバを CD からインストールさせる必要があります。必要な作業は自動的に行われます。Windows には自動的に作業を行い、ファイル選択とインストール手順をガイドしてくれるデバイスドライバのアップグレードウィザードが用意されています。

詳細は、を参照してください。

- [21 ページの「Windows 7 システムへのインストール方法」。](#)
- [22 ページの「Windows Vista システムへのインストール方法」。](#)
- [23 ページの「Windows XP システムへのインストール方法」。](#)

Windows 7 システムへのインストール方法

1. [画面のプロパティ]を開きます。
[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[デバイスとプリンタ]を選択し、メニューからモニタの名前をダブルクリックします。
または、デスクトップをクリックし、[個人設定]→[ディスプレイ]→[デバイスとプリンタ]を選択し、メニューからモニタの名前をダブルクリックします。
2. メニューから[プロパティ]を選択します。
3. [ハードウェア]タブをクリックします。
4. [汎用 PnP モニタ]をクリックした後で、[プロパティ]ボタンをクリックします。
次に[設定変更]ボタンをクリックします。
5. [ドライバ]タブをクリックし、次に[ドライバの更新]ボタンをクリックします。
6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
7. [ドライバーソフトウェアの更新]ウィンドウで[コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]を選択します。
8. [参照]をクリックし、次のディレクトリを参照してください：d:\BenQ_LCD\Driver\
(d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます)。

☞ CD ドライブのドライブ文字は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。
D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名（フォルダ）を選択し、[次へ]をクリックします。
すると適切なモニタドライバファイルがコンピュータにコピーされ、インストールされます。
10. [閉じる]をクリックしてください。
ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

Windows Vista システムへのインストール方法

1. [画面の設定]を開きます。

デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから[カスタマイズ]を選択します。

[表示とサウンドをカスタマイズ]ウィンドウから[画面の設定]を選択します。

すると[画面の設定]ウィンドウが開きます。

2. [詳細設定] ボタンをクリックします。

すると[一般 PnP モニタのプロパティ]ウィンドウが開きます。

3. [モニタ] タブをクリックし、次に[プロパティ] ボタンをクリックします。

4. [ユーザーアカウントコントロール] ウィンドウで[続行] をクリックします。

5. [ドライバ] タブをクリックし、次に[ドライバの更新] ボタンをクリックします。

6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。

7. [ドライバ ソフトウェアの更新] ウィンドウで[コンピュータからドライバ ソフトウェアを探す] オプションを選択します。

8. [参照] をクリックし、次のディレクトリを参照してください : d:\BenQ_LCD\Driver\
(d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます)。

☞ CD ドライブのドライブ文字は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。
D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名 (フォルダ) を選択し、[次へ] をクリックします。

すると適切なモニタドライバファイルがコンピュータにコピーされ、インストールされます。

10. [閉じる] をクリックしてください。

ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

Windows XP システムへのインストール方法

1. [画面のプロパティ]を開きます。

[画面のプロパティ]は、Windows デスクトップから選択するのが一番簡単です。

デスクトップを右クリックし、ポップアップメニューから[プロパティ]を選択します。

また[画面のプロパティ]は[コントロールパネル]から開くこともできます。

Windows XP バージョンでは、コントロールパネルはメインのスタートメニューから直接選択できます。

表示されるメニューオプションは、システムで選択した表示タイプによって異なります。

- クラシックビューでは、[スタート]、[コントロール パネル]、および[画面]をクリックします。
- カテゴリービューでは、[スタート]、[コントロール パネル]、[表示とテーマ]、[画面の解像度を変更]をクリックします。

すると[画面のプロパティ]が開きます。

2. [設定] タブを選択し、[詳細] ボタンをクリックします。

すると[詳細画面のプロパティ]が開きます。

3. [モニタ] タブをクリックし、リストから[プラグアンドプレイ モニタ]を選択します。

1 台のモニタしかリストされていない場合は、そのモニタがすでに選択されています。

4. [プロパティ] ボタンをクリックします。

すると[画面のプロパティ]が開きます。

ドライバの製造元が「BenQ」と表示されており、新しいモニタと同じモデル名が表示されている場合は、正しいドライバがすでにインストールされていますので何もすることはありません。これらのプロパティウィンドウを閉じてください。

ただし、製造元が「BenQ」と表示されていない場合、または正しいモデル名が表示されていない場合は、続けて次の手順にしたがってください。

5. [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。

すると[ハードウェアの更新ウィザード]が表示されます。ウィザードの手順にしたがってください。

6. コンピュータの CD ドライブにこの BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。

7. [リストまたは指定した場所からインストール] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

8. [これらの場所から最適なドライバを検索] オプションと、[リムーバブルメディアを検索] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

ウィザードがドライバと、ステップ 6 で挿入した BenQ LCD Monitor CD を検出しますのでしばらくお待ちください。検出後は、このモニタモデルに合った BenQ ドライバが CD から検出、選択されています。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. **[完了]** をクリックします。

するとウィザードが終了し、**[画面のプロパティ]** に戻ります。

11. 閉じますかの後、**[OK]** をクリックします。

[画面のプロパティ] を閉じます。ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

6. 画像の最適化

アナログ入力（D-Sub）から画像を最適化するために最も簡単な方法は、**AUTO** キー機能を使うことです。コントロールパネルで**AUTO** キーを押すと、モニタが自動的に調整されます。

 デジタル（DVI または HDMI）ケーブルを使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続すると、モニタが自動的に最高画像を表示するため **AUTO** キーと自動調整機能は無効になります。

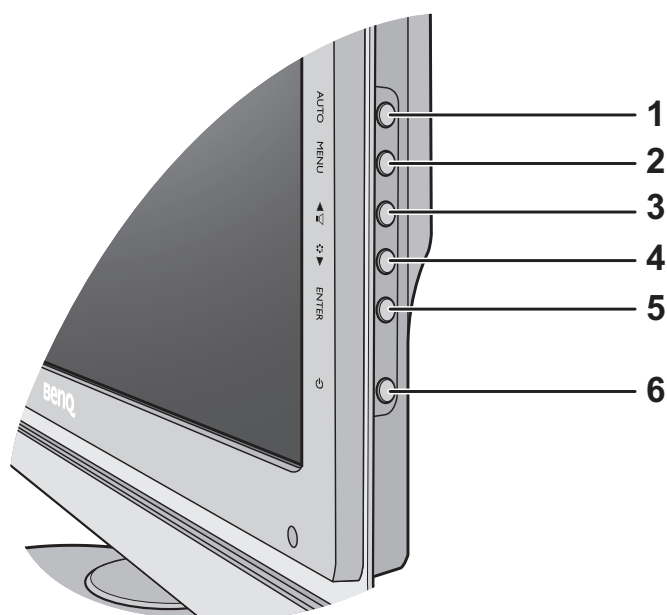
 **AUTO** キー機能を使用するときには、コンピュータに接続したグラフィックカードがモニタ本来の解像度に設定されていることを確認してください。

幾何学メニューからは、いつでも画面の幾何設定を手動で調整することができます。これを簡単に行えるように、スクリーンテスト画像ユーティリティが用意されています。これを使用することによって、画面の色、グレースケール、ラインのグラデーションなどを確認することができます。

1. CD-ROM からテストプログラム **auto.exe** を起動してください。変更結果を調べるには、これが最も良い方法です。OS のデスクトップなど、他のイメージを使用することもできます。それでも、**auto.exe** を起動するとテストパターンが表示されますので、**auto.exe** を使用されるようお勧めします。
2. モニタの **AUTO** ボタンを押してください。
3. コントロールパネルで **MENU** を押すと、OSD にアクセスします。
4. ▲ または ▼ キーを押して **DISPLAY** を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
5. 縦にノイズが走っている場合（縦のラインがゆらめくカーテン効果に似ています）は ▲ か ▼ キーを押して、**Pixel Clock** を選択した後 **ENTER** キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで ▲ か ▼ キーを押します。
6. 横にノイズが走っている場合は ▲ か ▼ キーを押して、**Phase** を選択した後、**ENTER** キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで ▲ か ▼ キーを押します。

7. モニタの調整

コントロール パネル



1. **AUTO** : 垂直位置、位相、水平位置、ピクセルクロックを自動的に調整します。
2. **MENU** キー : OSD メインメニューを有効にして、前のメニューに戻るか、OSD を終了します。
3. **▲ / ボリュームキー** : 上 / 設定を上げます。このキーはボリュームのホットキーです。
4. **▼ / モードキー** : 下 / 設定を下げます。このキーはモードのホットキーです。
5. **ENTER** キー : サブメニューに入り、アイテムを選択します。このキーは入力のホットキーにもなります。
6. **電源スイッチ** : 電源を ON/OFF します。



OSD = オンスクリーン ディスプレイ。

ホットキーを押すと設定値を調整するためのグラデーションが表示されます。これは OSD メニューが表示されていない場合にのみ使用することができます。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。詳細は、[27 ページの「ホットキー モード」](#)を参照してください。

ホットキー モード

モニタキーは、メニューが画面に表示されていないときに特定の機能を直接実行するためのホットキーの役割を果たします。

ボリューム ホットキー

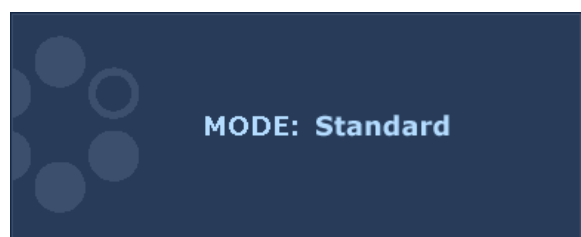


▲ キーを押すとボリュームインジケータが表示されます。さらに ▲ キーを押すと音量を上げ、▼ キーを押すと音量を下げるができます。



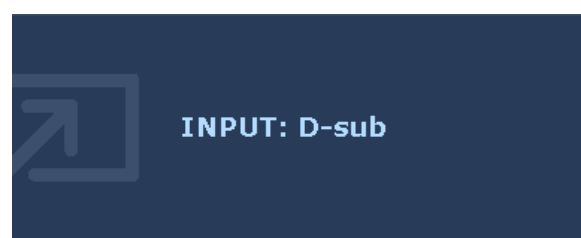
無音にするには、ボリューム ホットキーを3秒間押し続けてください。ボリュームを元に戻すには、ボリューム ホットキーをさらに3秒間押し続けてください。

モードホットキー



▼ キーを押し続けると、メインウィンドウの6つのモード(標準、動画、ゲーム、写真、sRGB、Eco)を切り替えることができます。設定は直ちに反映されます。[33 ページの「画像モード」](#)も参照してください。

入力ホットキー (アナログ専用モデルではご使用いただけません)

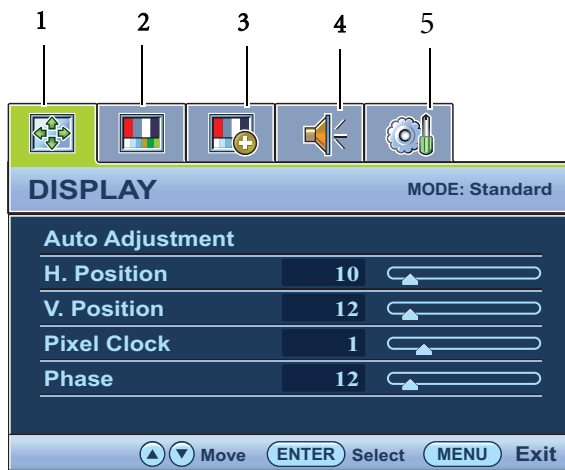


ENTER キーを押すと、モニタに接続されている別のPCビデオ信号入力に切り替わります。設定は直ちに有効になります。[38 ページの「入力」](#)を参照してください。

メインメニューモード

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。

MENU キーを押すと、次のようなメインメニューが表示されます。



メインの OSD メニューは 5 つあります。

1. 表示
2. 画像
3. 画像の詳細設定
4. オーディオ
5. システム

▲ (上) または ▼ (下) キーを使ってメニューアイテムを選択し、**ENTER** キーを押すとメニューアイテムの設定が表示されます。



OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、「OSD 設定」の **39 ページの「言語」** を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- 29 ページの「表示メニュー」
- 31 ページの「画像メニュー」
- 33 ページの「画像の詳細設定メニュー」
- 36 ページの「オーディオメニュー」
- 38 ページの「システムメニュー」

表示メニュー

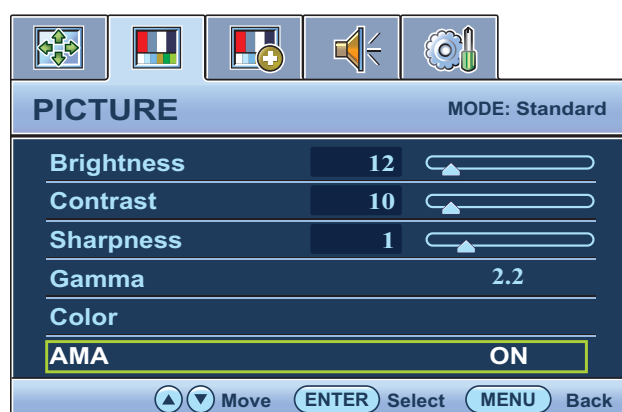


1. **MENU** キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して表示 を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU** ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
自動調整	スクリーン設定を自動的に最適化、調整します。AUTO ボタンはこの機能のホットキーです。 ☞ デジタル（DVI または HDMI）ケーブルを使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続すると、自動キーと自動調整機能は無効になります。	ENTER キーを押すところのオプションが選択されますので、必要に応じて調整してください。	

水平位置	イメージの水平位置を調整します。	値を調整するには、▲ か ▼ キーを押してください。	0 から 100
垂直位置	イメージの垂直位置を調整します。		0 から 100
周波数	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のタイミングを調整します。 デジタル入力信号では使用できません。 25 ページの「画像の最適化」を参照してください。		0 から 100
フェーズ	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のフェーズタイミングを調整します。 デジタル入力信号では使用できません。 25 ページの「画像の最適化」を参照してください。		0 から 63

画像メニュー



1. **MENU** キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して画像を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU** ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
輝度	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。	▲ キーを押すと輝度が上がり、▼ キーを押すと輝度が下がります。	0 から 100
コントラスト	暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。	▲ キーを押すとコントラストが上がり、▼ キーを押すとコントラストが下がります。	0 から 100
鋭さ	被写体の鮮明さを調整します。	▲ キーを押すと画面の鮮明さが向上され、▼ キーを押すとソフトになります。	1 から 5
☞ 輝度、コントラスト、鋭さの上記オプションは、標準モードでしか使用できません。			
ガンマ (画像モードが標準または Eco に設定されている場合にのみ有効です)	トーンの輝度を調整します。デフォルト値は 2.2 (Windows の標準値) です。	▲ キーを押すとガンマ値が上がり (トーンが暗くなります)、▼ キーを押すとガンマ値が下がります (トーンが明るくなります)。	1.8 から 2.6
カラー設定 - ENTER を押すとカラー設定メニューに入ります。			
☞ このカラーメニューは、標準モードでしか使用できません。			

標準	ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。	▲ または ▼ キーを押してこのオプションを選択します。	
薄青	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。		
薄赤	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。		
ユーザー	画像の色合いをユーザー自身で設定することができます。赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。	▲ または ▼ キーの後に ENTER キーを押して、赤、緑または青を選択してください。次に ▲ または ▼ キーを押して色調整を行います。	• 赤 (0 から 100) • 緑 (0 から 100) • 青 (0 から 100)
	色相：人間の目に映る色の濃淡を調整します。	値を調整するには、▲ か ▼ キーを押してください。	0 から 100
	彩度：色の純度を調整します。	値を調整するには、▲ か ▼ キーを押してください。	0 から 100
	☞ 色相と彩度の上記オプションは、信号ソースがコンポーネントビデオか HDMI でなければ使用できません。		
色のリセット	ユーザー設定色をデフォルト値に戻します。	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	• はい • いいえ
MENU を押してカラー設定メニューを終了します。			
AMA	LCD パネルのグレーレベル応答時間を短縮化します。	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	• オン • オフ

画像の詳細設定メニュー



1. **MENU** キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. **▲** または **▼** キーを押して画像の詳細設定を選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. **▲** または **▼** キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. **▲** または **▼** キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU** キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
画像モード	画面に表示する画像の種類に最も合ったモードを選択します。 • 標準 - 基本的な PC アプリケーションで使います。 • 動画 - ビデオを見るときに使用します。 • ゲーム - ビデオゲームを楽しめます。 • 写真 - 静止画を見るときに使用します。 • sRGB - プリンタやDSCなどの周辺機器との色を一致させます。 • Eco - 実行中のプログラムの輝度を最小限にすることで電力消費量を下げ、節電します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	• 標準 • 動画 • ゲーム • 写真 • sRGB • Eco

デモ	画像モードで選択したモードを使って、画像をプレビューします。スクリーンは2つのウィンドウに分割されます。左側のウィンドウにはスタンダードモードで画像が表示され、右側のウィンドウには指定したモードで画像が表示されます。	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	・オン ・オフ
DCR (画像モードが動画、ゲーム、または写真に設定されているときにのみ有効となります)	入力画像を自動的に検出し、コントラストを最適化する機能です。	このオプションを選択するには ENTER キーを押してください。設定を変更するには、▲ か ▼ キーを押してください。	0 から 5
画面モード	この機能は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示します。 • Overscan - 入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。 • 全画面 - 入力画像をスクリーンに合わせて表示します。縦横比が 16:9 の画像に適しています。 • 縦横比 - 入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。16:9 画像はスクリーンの横幅いっぱいに表示され、4:3 画像はスクリーンの高さいっぱいに表示されます。 • 1:1 - 入力画像はサイズを変更せずに、そのまま最高解像度で表示されます。	設定を変更するには、▲ か ▼ キーを押してください。 ☞ 入力信号ソースによって、画面モードの下のオプションが変わります。	信号ソースが DVI または D-sub ソースから入力されており、入力画像が非ワイドアスペクト比の場合： • 全画面 • 縦横比 • 1:1 または 信号ソースが HDMI、コンポーネント、コンポジット、または S ビデオの場合： • Overscan • 全画面 • 縦横比 • 1:1

HDMI RGB PC 範囲 (HDMI 入力の場合の み)	カラースケールの範囲を決定します。接続した HDMI デバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されます。▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	• RGB (0 ~ 255) • RGB (16 ~ 235)
---	--	---	---

オーディオメニュー



1. **MENU** キーを押してメインメニューを表示します。
2. **▲** または **▼** キーを押してオーディオを選択し、**ENTER** キーを押してメニューに入ります。
3. **▲** または **▼** キーを押してメニューアイテムを移動し、**ENTER** キーを押してアイテムを選択します。
4. 調整を行ったり、選択したりするには、**▲** または **▼** キーを押してください。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU** ボタンを押します。

アイテム	機能	操作	範囲
オーディオモード	オーディオモードを選択できます。	設定を変更するには、 ▲ か ▼ キーを押してください。	• 標準 • ロック • ポップ • ゲーム • 動画
ボリューム	音量を調整します	音量を上げるには ▲ キー、下げるには ▼ キーを押してください。	0 ~ 100
ミュート	オーディオ入力を無音にします	設定を変更するには、 ▲ か ▼ キーを押してください。	• オン • オフ
アドバンスオーディオ（オーディオモードが標準に設定されている場合に有効となります）	サウンドの周波数を高くまたは低くします。	設定を変更するには、 ▲ か ▼ キーを押してください。	• 高音 • 低音

オーディオ選択	ユーザーが手動でオーディオソースを選択するか、あるいはモニタに自動検出させます。	設定を変更するには、 ▲ か ▼ キーを押してください。	• 自動検出 • AV オーディオ 1 • AV オーディオ 2 • PC 音声
EmbracingSound	EmbracingSound® をオン / オフにします。EmbracingSound® テクノロジーはモニタからのサウンド出力をエンハンスします。	設定を変更するには、 ▲ か ▼ キーを押してください。	• オン • オフ (オーディオモードとアドバンスオーディオの両メニューが無効になります)

システムメニュー



1. **MENU** キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. **▲** または **▼** キーを押してシステムを選択し、**ENTER** キーを押すとメニューに入ります。
3. **▲** または **▼** キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、**ENTER** キーを押してそのアイテムを選択します。
4. **▲** または **▼** キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、**MENU** ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	設定を変更するには、 ▲ か ▼ キーを押してください。	• D-sub (VGA) • DVI • HDMI 1 • HDMI 2 • S ビデオ • コンポジット • コンポネント
OSD 設定 - ENTER を押すと OSD 設定メニューに入ります。			

言語	OSD メニューの言語を選択します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。 ☞ 本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	• English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski • 日本語 • Český • 繁體中文 • Magyar • 简体中文 • SICG/BiH/CRO • Română • Nederlands • Русский • Svenska • Português
水平位置	OSD メニューの水平位置を調整します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	0 から 100
垂直位置	OSD メニューの垂直位置を調整します。		0 から 100
表示時間	OSD メニューの表示時間を調整します。		• 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒

OSD ロック	モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。 ☞ OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、MENU キーを 15 秒間押すと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。または、▲ キーか ▼ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [いいえ] を選択すると、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。	• はい • いいえ
MENU を押して OSD 設定 メニューを終了します。			
DDC/CI*	PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。	ENTER キーを押すときのオプションが選択されます。▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	• オン • オフ
CEC	この機能が有効になっているときには、HDMI 接続を介して、接続したマルチメディアデバイスのリモコンを使ってモニタのオン/オフを切り替えることができます。この場合、接続したデバイスが CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応している必要があります。	ENTER キーを押すときのオプションが選択されます。▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	• オン • オフ
ソースの自動検索 (ソースが D-sub、DVI、HDMI の場合に有効です)	この機能を有効にすると、D-sub、DVI、HDMI ポートが入力自動選択ループに入ります。有効にしなければ、これらのソースは入力選択かホットキーでしか選択することができません。	ENTER キーを押すときのオプションが選択されます。設定を変更するには、▲ か ▼ キーを押してください。 ☞ ソースがコンポーネント、コンポジット、S ビデオの場合は、このオプションは無効になります。	• オン • オフ

情報	モニタのプロパティ設定を表示します。		• 入力 • 現在の解像度 • 最適解像度 (モニタに最適です) • モデル名
すべて元に戻す	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	• はい • いいえ



*Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。

8. トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

② 画像がぼやける :

☞ CD の "スクリーンの解像度の調整" リンクの指示にしたがってください、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

② VGA 延長ケーブルを使用している場合

☞ テストを行うため、延長ケーブルを取り外します。画像の焦点が合っていることを確認してください。合っていない場合は、"スクリーンの解像度の調整" リンクの "リフレッシュ レートの調整" セクションの指示にしたがって、画像を最適化してください。画像の最適化を行ってください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。

② ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合

☞ CD の "スクリーンの解像度の調整" リンクの指示にしたがってください。ネイティブ解像度を選択します。

② ピクセル エラーが表示される :

☞ 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合

- LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
- 電源のオン/オフを切り替え。
- モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。

② 画像が不自然な色で表示される :

☞ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合

MENU > 画像 > カラー設定 > 色のリセットを選択し、注意メッセージボックスではいを選択すると色の設定がデフォルト値に戻されます。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

② 画像が表示されない :

☞ ディスプレイのプロンプトが緑色に点灯している場合

LED が緑色に点灯し、画面に「Out of Range」というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていない画面モードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。"スクリーンの解像度の調整" リンクの "プリセット 画面モード" セクションをお読みください。

⑦ スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります。

- ☞ 省電力機能を有効にして、コンピュータとモニタを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
- 画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

⑧ ディスプレイのプロンプトがオレンジ色に点灯している場合

- ☞ LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

⑨ ディスプレイのプロンプトがまったく点灯しない場合

- ☞ 電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。

⑩ 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく：

- ☞ CD の "スクリーンの解像度の調整" リンクの指示にしたがってください。正しい解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

⑪ モニタは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます。

- ☞ 異なる入力ソースの画像は、モニタの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力ソースを最高の状態で表示するには、[画面モード] で入力ソースに合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、[34 ページの「画面モード」](#)を参照してください。

⑫ 画像が片側に寄ってしまう：

- ☞ CD の "スクリーンの解像度の調整" リンクの指示にしたがってください。正しい解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

⑬ OSD コントロールにアクセスできません：

- ☞ OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、MENU キーを 15 秒間押すと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。
- または、▲ キーか ▼ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [いいえ] を選択すると (システムメニュー)、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。

⑭ 内蔵スピーカーから音が出ない：

- ☞ オーディオ信号を入力するためのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。詳細は、[13 ページの「オーディオ信号を入力するには」](#)を参照してください。
- 音量を上げてください (音量が無音になっているか、低すぎる場合があります)。
- ヘッドフォンや外付けスピーカーを外してください (それらがモニタに接続されている場合は、内蔵スピーカーは自動的に無音になります)。

⑮ 外付けスピーカーから音が出ない：

- ☞ ヘッドフォンを外してください (モニタにヘッドフォンが接続されている場合)。
- OPTICAL または Line Out (接続されているスピーカーのオーディオ転送方式によります) が正しく接続されていることを確認してください。

- 外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
- 外付けスピーカーの音量を上げてください (音量が無音になっているか、低すぎる場合があります)。

② サウンドが無音にできない :

- ☞ • コンピュータを再起動してください。
- グラフィックやオーディオドライバをアップデートしてください。

② USB デバイスが正常に作動しない :

- ☞ • アップストリームとダウンストリームの USB が正しく接続されていることを確認してください。
- 相当する USB デバイスドライバがある場合は、それをインストールしてください。

それでも具合が悪いときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、servicejp@BenQ.com まで電子メールにてお問い合わせください。